

庫内管理デジタル化 -Visual Warehouse®-

庫内業務の課題

物流業界を悩ませる人手不足問題。倉庫管理者は人員不足を解決するために、作業員を新たに雇用したとしても、その作業員が既存の作業員と同等の作業生産性・品質のパフォーマンスを発揮するには、長い時間を要することが多々見受けられます。なぜならば、日本では多くの倉庫で業務が属人化しているからです。

また、庫内業務を改善しようとしても、業務を分析するための定量的データがないために問題の在り所を把握できず、改善アクションを設定することができない倉庫も多くあります。庫内業務改善のためには、第一に庫内業務を可視化することが必要です。

Visual Warehouse®とは？

Visual Warehouse®は倉庫現場を可視化し庫内作業の最適化を行う作業支援ツールであり、株式会社サトーが提供しています。Visual Warehouse®を活用することで、属人化の排除・作業生産性の向上を実現することができます。

Visual Warehouse®の概要

物流現場

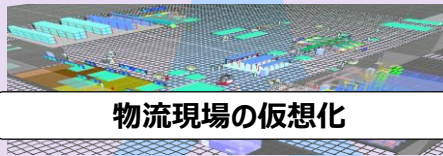


リアル現場の作業支援

Visual Warehouse®

Sensing Data

人、モノの所在管理
Sensing Dataによる、
人、モノのリアルタイム
所在管理



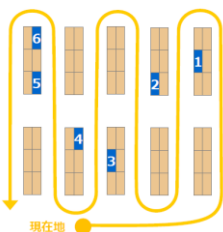
物流現場の仮想化

物流現場の“可視化”
動線・滞留・距離
現状分析
改善シミュレーション

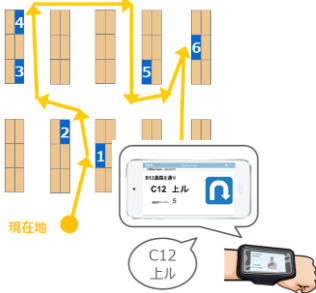
倉庫現場を可視化し庫内作業の最適化

最短作業動線指示

従来の一筆書き動線

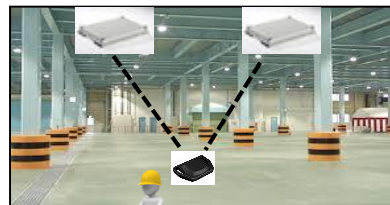


Visual Warehouse®



独自のアルゴリズムで最短動線を算出し、
作業経路を作業員へ指示

位置測位による作業の可視化・効率化



座標1(X,Y)を測位

人・商品の位置情報をリアルタイムに取得することで、
入出庫時の作業スピードを改善・可視化も可能。

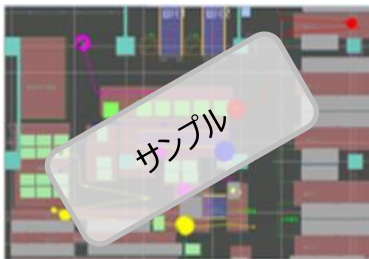
属人化の排除

生産性改善

庫内データの活用

Visual Warehouse®は庫内作業支援を行うと同時に、作業動線や作業時間に関するデータを取得します。そのデータを活用することによって、庫内業務の課題を発見し、改善アクションを設定することが可能になります。

動線・滞留表示



フォークリフトや作業者の動線、滞留したポイントと時間をマップで表示

作業員別・エリア別作業時間の表示



作業員別に、どのエリアにどのくらいの時間滞在したか、ピックにどのくらいの時間を要したかを表示

作業員ごとに作業生産性を算出 → 作業員ごとの生産性差異を明らかにし、各自に適した教育を実施
 エリアごとに滞在回数・滞在時間を算出 → 無駄な移動・滞在を明らかにし、在庫配置の適正化を実施

Why QUNIE × SATO ?

Visual Warehouse®から庫内を定量的に分析するためのデータを取得し、それと同時にプロセス改善・データの活用方法・KPI管理手法に関する知見を持つことで、業務改善を推進させることができます。QUNIEと株式会社サトーは、それぞれの強みを活かし、お客様の業務改善をご支援いたします。



プロセス改善・データ活用・
KPI管理方法の知見提供



Visual Warehouse®で
庫内を可視化

定量的データをもとにした改善アクションを立案
スピード感を持って改善実施

株式会社 QUNIE

〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイス イーストタワー11F
 TEL: 03(3517)2292 FAX: 03(3517)2293
 Email: info@qunie.com <https://www.qunie.com>

Trusted Global Innovator
 NTT DATA Group

NTT DATA